

## ウ 研究実践報告

### (ア) 中学校の取組 ～世界に目を向けよう～

宇和島市立城北中学校 兵頭 浩章

宇和島市立城北中学校 二神麻美子

宇和島市立明倫小学校 酒井 陽子

#### <城北中学校>

##### 1 国際理解教育研究主題

「国際感覚をもち、異文化を尊重し、ともに生きていく資質や態度の育成」

##### 2 具体的指導と対策

###### (1) 国際関係

国際交流や体験報告を通して、異文化理解を行う。

###### (2) 地球的規模の問題

ア 経済、貧困、人種、食糧、資源、難民、エイズ、戦争や紛争などについて学び、幅広い知識を養う。

イ 人権・同和教育の視点を大切に、実践していく。

##### 3 実践

実践の時間は、総合的な学習の時間、道徳、特別活動に位置付けている。

- (1) 異文化への興味・関心と理解を深めるため、海外生活の体験談を聞いたり、ワークショップによる世界の現状を理解したりする。
- (2) 異文化交流で学んだことをまとめ、今の自分たちに何が必要かを考える。
- (3) ALT の協力を仰ぎ、異文化の良さを知るだけでなく、自国の文化も紹介しながら交流を行う。
- (4) メールや手紙といった手段を用いて継続的な交流を促し異文化交流の楽しさを知る。

##### 4 実践内容

###### (1) 人権参観日・講演会

国際地雷処理・地域復興支援の会、高山良二さんの著書「地雷処理という仕事」を道徳教材として活用し、地雷処理中の事故状況や命の尊さ、復興に向けての謙虚な姿勢について学んだあと、全校集会で高山さんの講演を聞いた。講演会では、カンボジアの地域復興の支援活動、地雷除去活動の苦労や今後の夢、カンボジアについて教えて頂いた。生徒からは地雷処理の方法についての質問もあり、地雷の隣に爆弾を置いて爆発させることなども教えて頂いた。

(生徒や保護者からの感想)

- ・ 地雷という兵器の恐ろしさを知った。
- ・ 宇和島出身で世界平和のために働いている人がいることを知り、誇りに思った。
- ・ 命にかかわる危険な仕事をして頭が下がる。

講演を聞き、何ができるかを生徒会で話し合い、募金活動を行った。翌年には 44,300 平方メートルの広さの土地の地雷除去をすることができたという感謝状を頂いた。

###### (2) 異文化に学ぶ～総合的な学習の時間「世界に目を向けよう」の実践～

コスタリカ、マレーシア、スペイン、フランスで、留学、青年海外協力隊、日本人学校勤務の経験をもつ4名の教員の体験談を聞き、感想をまとめた。授業では、DVD やクイズ形式のプリントを活用した。自分たちの国や地域の文化を十分に知ること、異文化との違いを受け入れ、偏見のない態度を育成したいという思いで授業を進めた。

##### 5 まとめ

今の中学生は、西暦 2000 年以降に生まれたミレニウム世代。予測では、彼らの 50 パーセントは医学の発達で 2100 年まで生きるといわれている。中学生が 100 歳になるまでに、世界や日本の情勢は大きく変わるだろう。生活は便利になるかもしれないが、終身雇用も今以上に難しくなり、世の中の流れにうまくのって生きるのが難しくなっていくのではないかと思う。グローバル化が進んでも、逆に人と人と



のコミュニケーションでは、難しくなっていくのではないかと思います。今の日本のように経済性を優先していくと、人間としての幸せや人権が後回しにされていく世の中になっていきそうで、子どもたちの未来が心配。生徒たちと共に一人一人が当たり前のように幸せに生きることができる世の中になるように常に国際理解や人権問題についてのアンテナをたて、これは間違っているだろう、変だなあという事象に当たった時には行動やしたり、一人でも文句が言えたりするよう生徒たちと共に学んでいきたい。国際理解教育の成果はすぐに出てくるものではない。10年後、20年後に国際感覚や人権感覚の茎が伸びて花が咲くように中学生の心をしっかり耕し、芽がでるまでの水撒きをしていくように涵養させていきたいと思う。

## <城南中学校>

### 1 国際理解教育

#### (1) 生徒会活動の取組・・・ペットボトルキャップ回収運動

国際理解教育の一環としてペットボトルのキャップ回収に努めた。キャップ430個で10円、ポリオワクチン一人分が20円なので、860個で一人の子供の命が救えることになる。地域を上げての取組にしようと、広場での寸劇、ケーブルテレビでの呼びかけやポスターなどを通して地域の人に知ってもらった。その結果、西予市からも寄付を頂き、現在15万3千個のキャップが回収された。また、文化祭ではこれらの活動の成果を発表し、一人一人の意識を高めた。



その際の文化祭のオープニング曲は「僕らの世界」

♪ 遠い空の下で 言葉の森を抜け あなたに出会えた  
あなたを わかりたくて 言葉の壁に絵を 共に描いて笑う  
何が正しいとかではなくて 誰が間違いでもない  
あなたを見て あなたに見つめられて 世界は 素敵だと 思えたよ  
ぼくらの世界 君の正解 それぞれあるけど それが素晴らしい  
ぼくら精一杯 お互いの理解 深めるためにも I love your world ♪

#### (2) ブックトーク

総合的な学習の時間に、各学年に分かれて国際理解の出前授業をした。1年生は県立図書館職員の方と国際交流課から中国の方をお迎えしてのブックトークとヒューマントークを行い、国語科の読書教材を深化させることができた。

#### (3) アメリカでの生活体験

2年生を対象に3回の出前講座を実施し、アメリカでの生活経験や文化を学んだ。

#### (4) 中国人留学生交流会

中国語で歌を歌い、中国の文化を学ぶと同時に、日本の文化について話し合い、発表をした。

#### (5) JICA 出前講座

JICAからは「セネガルについて」と「100人村」のワークショップをして頂いた。

#### (6) 講演会の実施 「海外での生活経験」

進路決定を控えた3年生を対象に、日本人学校を始めとして諸外国で活躍された先生を招いての講演会を実施。

#### (7) 国際協力中学生エッセイコンテストへの参加

学校全体として、JICA 国際協力エッセイコンテストに参加した。「世界と日本の幸せのために「私がしたいこと、すべきこと」というテーマのもと15名が出展。2年生の1名は佳作受賞、JICAより表彰して頂いた。

(生徒の感想) ・ 他国を学ぶには、自国の文化を学ぶ必要がある。  
・ 文化や習慣だけでなく、他国の方の内面にも触れていきたい

#### (8) 家庭や地域との連携 1年生「宇和島発見」

1年時に地域の文化を知り、郷土を理解する活動の大切さを再認識した。